

きるだけ対等な関係でいる方がいいというのが私たちの考え方なんです。その意識がお互いすごく強いのもいいですね。

**市長**実は、パートナーというの、街づくりにおいても大切なものなんです。市民と行政がお互いの能力を高め合いながら発揮する、そういうパートナーシップの関係でなければいい社会はできない時代になってきています。

**大橋**街づくりについて、みんながそれぞれの知識や感性を生かした発言をする場が大切ですね。

**市長**そうですね。市民からの要求もいろいろな種類やレベルがあり、だんだん複雑化してきているのが現状です。それを何でも行政がやるということはもはやできなくなっています。多くの意見を聞きながら、市民にやっていただくものと、行政がやるものを分担する必要があると思っています。

**大橋**みんなで意見を出し合ったらより良いアイデアが見つ



今年の本大会に向けて、昨年行われたDPI世界会議札幌大会1年前プレ大会。大勢のボランティアスタッフの協力を得て、約400人が参加しました

かるかもしれないということ、本当はもっと素直に考えていくべきなのかもしれないですね。

**市長**最近では、ボランティア活動をされているみなさんがNPO（民間非営利組織）という公に認められた団体として活躍する場面が増えていいます。そうした団体と行政がお互いを認め、議論を交わしながら、これからの街づくりを進めていくことがとても重要になってきています。

**大橋**私は、仕事柄外国へ行くことがあるんですが、どの国にも、みんなで意見を交換

し合う機会が当然のようにあるんです。住んでいる地域のことを一人ひとりが考え、街をこうしよう、という意識を持っていきますからね。札幌は、そういう意識の必要性を認めた上で、いろいろなことを進めてきていますから、ますます成長していくんでしょうね。司会最後に二〇〇二年の年頭に当たりまして、お二人の抱負をお聞かせください。

**市長**今年はいよいよ、ここ札幌ドームでサッカーのワールドカップが開催されますし、秋にはDPI（障害者インターナショナル）という障害者団体の世界会議もあります。国内外からたくさんの方が来られますから、街全体で温かいおもてなしをすることがとても大切になってきます。そして、またこの機会に、札幌のすばらしさを大きく売り出したいと思っています。

現在、バリアフリーの施設改善をどんどん進めています。結局、一番大切なのは心のバリアフリーをきちんと持っていることなんです。札幌の「環境と文化」をきちんとPRして、国際都市としての一

層の飛躍を図る年にしたいです。**大橋**すばらしいですね。私は歌手になって二十八年ですが、ここからまた、気力体力を充実させていきたいです。そして明日への希望を持って、みなさんにエネルギーを送れるようにしたいです。楽しいステージをやりたい。まだまだ頑張りたい。まだ頑張りたいと思っています。また、宣伝局長として（笑い）、また、皆さんこととして札幌を応援していきます。**市長**私も応援しています。今日はありがとうございました。



札幌ドームの国道側に面した「タウン」でグッズショップなどを見ながら散策する二人



### テレビ放映

この対談の様子は、1月5日(土)の午前9時45分〜10時15分に北海道テレビ（HTB）で放映します。